

1994年

1. 学術論文

- 宗像恒次: ストレスと健康管理, 病態生理 13(3):211-220, 1994.
- 宗像恒次: HIV/AIDSの流行と予防の社会学分析, 筑波大学体育科学系紀要 17:45-55, 1994.
- 小澤佐由理, 宗像恒次: 健康体操教室における中高年者の運動行動に関する研究—心理社会的アプローチ, 福祉文化研究 Vol.3:31-40, 1994.
- 宗像恒次: 性行動からみたエイズパンデミック社会—社会的解決策: 慢性の病とエイズ—ノーマライゼーションの行動科学(日本保健医療行動科学会年報)Vol.9:41-54, 1994.
- 島崎博嗣, 宗像恒次, 森 昭三: 夫婦関係別にみた幼児の心身の健康と家族関係, 慢性の病とエイズ—ノーマライゼーションの行動科学(日本保健医療行動科学会年報)Vol.9:144-160, 1994

2. その他の論文

- 宗像恒次: 性をめぐる子どものストレス, 教育相談研究 74:24-26, 1994
- 宗像恒次: 日本人のエイズ問題に関する葛藤と課題, 教育学研究 第61巻 第1号:15-16, 1994.
- 村田務, 宗像恒次: エイズ時代の性行動と避妊— AIDS時代の性行動, Sexual Science Vol.3, No.3, 24号:5-9, 1994.
- 宗像恒次: ストレスと神経系—社会的視点より, CLINICAL NEUROSCIENCE Vol.12, No.5:38-41, 1994.
- 宗像恒次: 民間・行政介入がもたらした HIV 予防効果と課題・薬の知識, Vo.45 No.7:6-9, 1994.
- 宗像恒次: HIV/AIDSの最新状況と対策課題, Human Sexuality No.16:28-33, 1994.
- 宗像恒次: メンタルヘルスの社会学—ストレスが生み出す新時代へのエネルギー, HUMAN SCIENCE Vol.1.5, No.5:20-22, 1994.
- 宗像恒次: 効果的な患者指導の進めかた, Medical Practice Vol.11:2-6, 1994.
- 宗像恒次: エイズの予防と共生—行動科学的視点から, 保健婦雑誌 Vol.50, No.13:1122-1123, 1994.
- 宗像恒次: 外国人セックスワーカーの HIV 感染予防及び生活支援システムについての調査研究, 平成5年度厚生科学研究費エイズ対策研究推進事業— HIV の疫学と対策に関する研究:99-103, 1994.

3. 著書

- 宗像恒次: 「海外渡航とエイズ」(編)通木俊逸「だれにもわかるエイズテキスト」, 虹出版社, 東京, pp.21-30, 1994.
- 宗像恒次, 森田眞子, 牧野忠康: 定年者の人生モラルと精神健康度の背景.(編)宗像恒次, 川野雅資「高齢社会のメンタルヘルス」, 金剛出版, 東京, pp.44-72, 1994.
- 宗像恒次, 藤澤和美, 仲尾唯治: 「70歳以上高齢者の精神健康」(編)宗像恒次, 川野雅資「高齢社会のメンタルヘルス」, 金剛出版, 東京, pp.73-87, 1994.
- 宗像恒次: 「高齢者の人生モラル及び神経症・抑うつ症状をめぐる心理社会的背景」(編)宗像恒次, 川野雅資「高齢社会のメンタルヘルス」, 金剛出版, 東京, pp.88-95, 1994.
- 宗像恒次, 諏訪茂樹, 藤田和夫: 「調査に見る介護者の精神健康」(編)宗像恒次, 川野雅資「高齢社会のメンタルヘルス」, 金剛出版, 東京, pp.104-112, 1994.
- 宗像恒次, 諏訪茂樹, 藤田和夫: 「介護者の精神健康に関する心理社会的背景」(編)宗像恒次, 川野雅資「高齢社会のメンタルヘルス」, 金剛出版, 東京, pp.113-126, 1994.
- 川野雅資, 高見沢恵美子, 宗像恒次: 「高齢者と介護者の関係から見た精神健康」(編)宗像恒次, 川野雅資「高齢社会のメンタルヘルス」, 金剛出版, 東京, pp.127-145, 1994.
- 高見沢恵美子, 宗像恒次, 川野雅資: 「調査にみる老人保健施設介入職員の精神健康」(編)宗像恒次, 川野雅資「高齢社会のメンタルヘルス」, 金剛出版, 東京, pp.155-163, 1994.
- 高見沢恵美子, 宗像恒次: 「施設職員の精神健康の心理社会的背景」—(編)宗像恒次, 川野雅資「高齢社会のメンタルヘルス」, 金剛出版, 東京, pp.164-171, 1994.
- 宗像恒次: 「医療における心とことば」(編)橋本信也「医師・患者関係の心理」, 中央法規, 東京, pp.214-224, 1994.
- 宗像恒次: 「海外生活者のメンタルヘルス」, 法研, 東京, pp.1-135, 1994.
- 長谷川謹也, 大利昌久, 宗像恒次: 「海外健康管理ハンドブック」財団法人 海外職業訓練協会, 東京, pp.1-160, 1994.
- 村瀬幸浩(編集), 宗像恒次, 池上千寿子, 草上村生, 他: 「教育実践への指標—エイズ—」, ぱすてる書房, 58-82, 1994.
- 宗像恒次, 森田眞子, 藤澤和美: 「日本のエイズ」, 明石書店, 7-162, 1994.
- Munakata T: AIDS in Japan. Akashi Shoten, 1-170, 1994.
- 宗像恒次: 「エイズ—心の時代への扉」, 明石書店, 1-189, 1994.

4. 口頭発表

- 宗像恒次: 後期産業社会に拓けるか心の時代—ストレスエイズ超高齢社会, 日本精神保健社会学会設立記念シンポジウム, 東京, 1994.3.
- Tsunetsugu Munakata: The anatomy of Tokyo. The global and the local of life · the World Congress of Sociology, Contested Boundaries and Shifting Solidarities, Germany, 1994.7.
- Tsunetsugu Munakata, Sookja Suh, Kazumi Fujisawa: Thai sex workers' knowledge, attitudes, and practices related to HIV/AIDS in Japan and Thailand—A comparative study, The Tenth International Conference on AIDS, Yokohama, 1994.8.
- Tsutomu Murata, Tsunetsugu Munakata and Kazuo Tajima: Effects of a behavioral—science—based AIDS education on college female students, International Conference on STD, Tenth International Conference on AIDS, Yokohama, 1994.8.

- N.Hamajima,K.Tajima,T.Munakata,T.Murata,T.Hiyama,W.Jitsukawa:Overview of studies on knowledge,attitudes,and behaviors related to AIDS/HIV among Japanese.The Tenth International Conference on AIDS,Yokohama.1994.8.
- YamamotoTakiji,MunakataTsunetsugu:A study of college students'knowledge,attitude and behavior toward HIV/AIDS.The Tenth International Conference on AIDS,Yokohama.1994.8.
- Tsunetsugu Munakata:A Satellite Symposium "Sexual Behavior Studies and HIV Prevention Policy—A Crossnational Comparison.The Tenth International Conference on AIDS,Yokohama.1994.8.
- 宗像恒次:AIDSの社会学.シンポジウム,日本行動計量学会第22回大会,茨城.1994.8.
- 宗像恒次:エイズ教育.パネルディスカッション—健康・福祉・教育を考える,日本健康科学学会第10回大会,富山.1994.10.
- 村田務,宗像恒次:学生のHIV/AIDSに関する意識と行動.第53回日本公衆衛生学会総会,鳥取.1994.10.
- 宗像恒次:ターニングポイント—今産業医学が変わる.第6回産業医学推進研究会,京都.1994.11.
- 宗像恒次:リスクファクターとしての東京人の通勤ライフ.第10回日本ストレス学会学術総会,東京.1994.11.

5.その他

- 産能大学;メンタル・マネージメント研究会(翻訳):ヘルシーカンパニー—人的資源の活用とストレス(著)ロバート・H・ローゼン著,(監訳)宗像恒次,産能大学出版,PP.1—198,東京.1994.,br>